



令和6年度 当初予算(案)のポイント

～安心できるまち、人が集まる磐田市～

令和6年2月
磐田市

当初予算の基本的な考え方

基本目標

『安心できるまち、人が集まる磐田市』

政策推進の柱

「子どもたちの安心」「暮らしと健康の安心」「まちづくりと防災への安心」
「未来と仕事の安心」「安心できる市役所づくり」

<3つの重点戦略>

働く場所・雇用の共創

誰もが活躍できるまちにするため、多様な業種の企業誘致の推進や既存産業の育成などにより、いつまでも安心して働き、幸せに生活できるまちを目指します。

住みたくなる・集まりたくなるまちに向けた共創

未来を担う子どもたちへの投資や子育て支援をはじめ、継続した防災・減災対策、空き家なども含めた本市の資産の活用、また、学びの機会の創出などによる多様なコミュニティの場づくりなどにより、住み続けたい、帰ってきたい、移り住みたい、訪れたい、と思えるまちを目指します。

新たな価値・魅力の共創

スポーツをはじめ、歴史・文化・自然環境など、本市が持つ、自慢できる宝・素材をさらに磨き、それを効果的に活用することにより、新たな価値や魅力の創造を図り、本市の誇りとにぎわいづくりを目指します。



目指すまちの姿

市民が安心を土台に、幸せ（ウェルビーイング）と誇り（シビックプライド）を実感できる、将来に希望が持てる持続可能（サステナブル）なまち

当初予算の基本的な考え方

令和6年度 当初予算のテーマ

『みんなでつくる!未来「共創」予算』

令和6年度 当初予算(案)の構成

一般会計 742億4,000万円 (前年度比+5.9%)

主な増加要因:普通建設事業費、扶助費、人件費等の増 ※自主財源比率:52.7%(前年度比0.6ポイント増)

特別会計 317億2,414万円 (前年度比△0.9%)

①駐車場事業 ②国民健康保険事業 ③後期高齢者医療事業 ④介護保険事業 ⑤財産区(4会計)

企業会計 394億4,345万円 (前年度比+5.0%)

①水道事業 ②下水道事業 ③病院事業

《全会計の予算合計額》

1,454億759万円 (前年度比+4.1%)

予算規模は過去最大

※令和5年度に続き
一般会計・全会計とも

当初予算の基本的な考え方

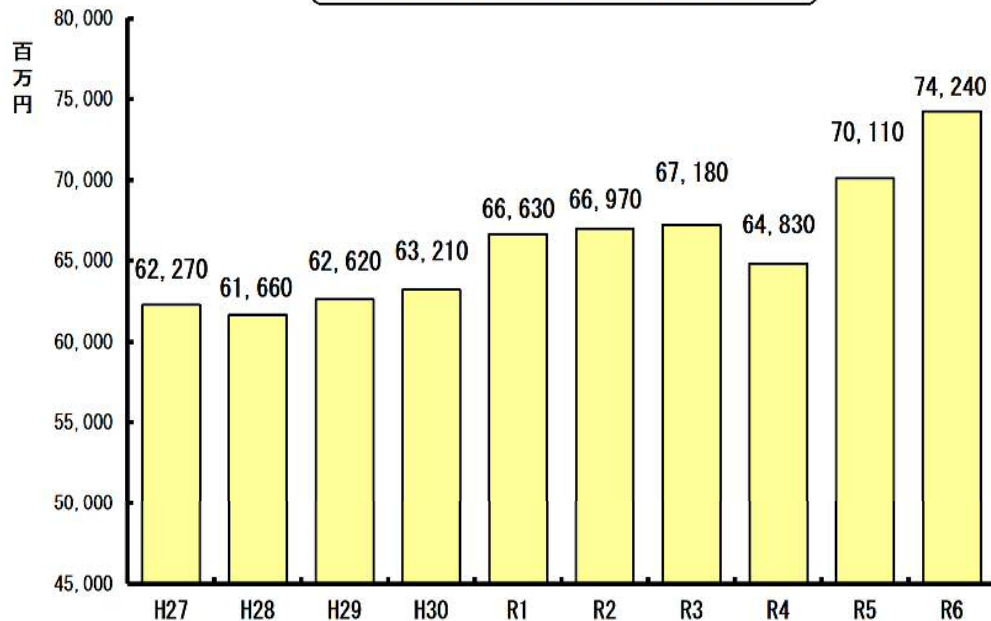
当初予算規模・基金・市債の推移

予算規模は
過去最大

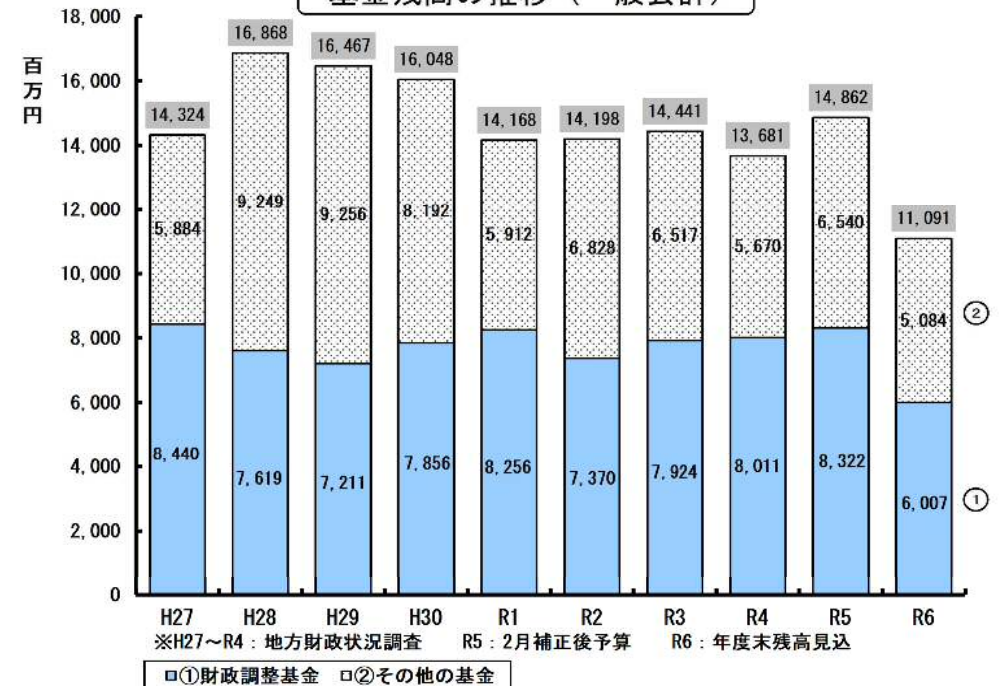
財調残高は
一定額を確保

※令和6年度当初予算
財政調整基金繰入額: 26.3億円

一般会計当初予算額の推移



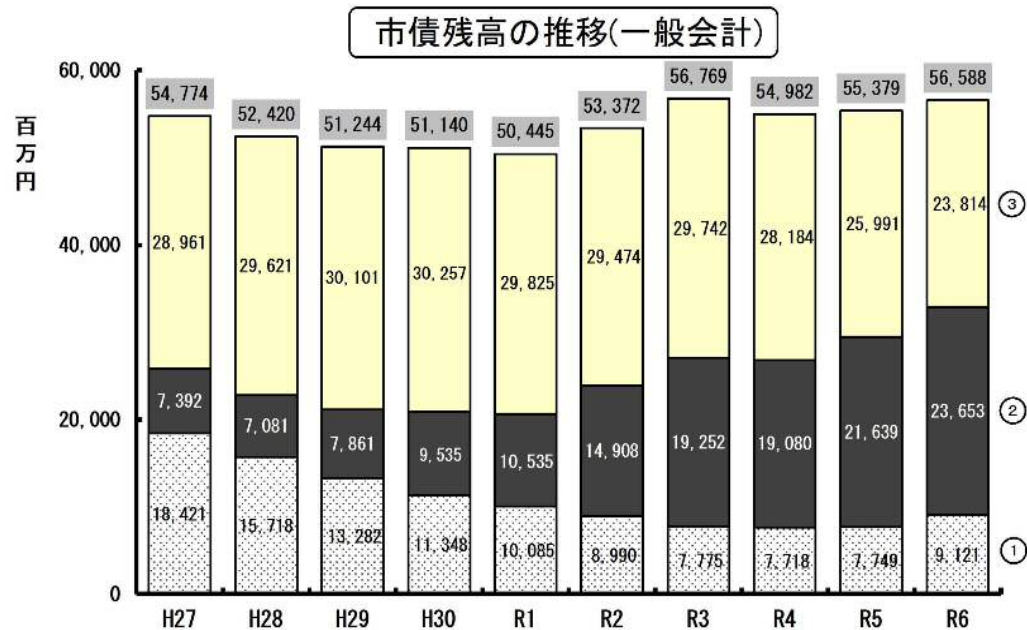
基金残高の推移 (一般会計)



当初予算の基本的な考え方

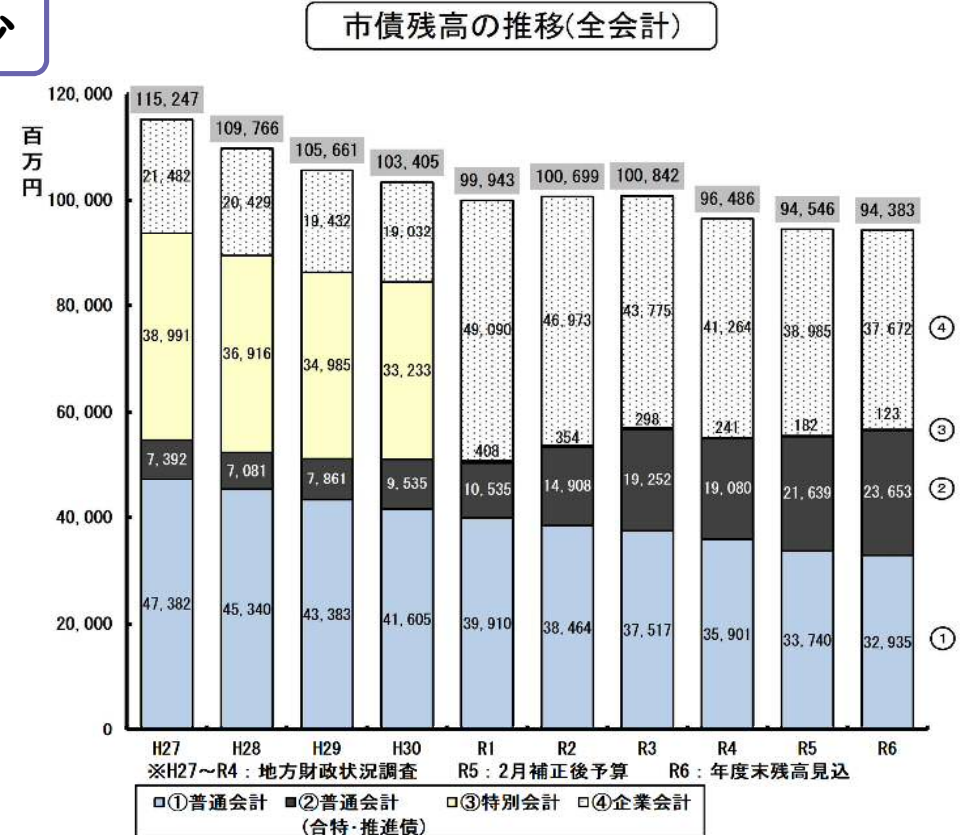
当初予算規模・基金・市債の推移

全会計ベース
では残高減少



※H27～R4：地方財政状況調査 R5：2月補正後予算 R6：年度末残高見込

□①右記以外 ■②合併特例・推進債 □③特例債(減税補てん債・臨財債)



※H27～R4：地方財政状況調査 R5：2月補正後予算 R6：年度末残高見込

□①普通会計 ■②普通会計 □③特別会計 □④企業会計
(合特・推進債)

「3つの重点戦略」

働く場所・雇用の「共創」

誰もが活躍できるまちにするため、多様な業種の企業誘致の推進や既存産業の育成などにより、いつまでも安心して働き、幸せに生活できるまちを目指します。

雇用創出・安定化への支援

◆ オフィスの立地に対する支援 102,500千円

◇ 新たな産業の柱を創出するため、情報通信業等の第3次産業に着目し、市内でオフィスの新設を行う企業へ支援

◆ UIJターンの促進 30,882千円

◇ 県内外の大学での企業説明会の開催や就活サポーターの活用等に加え、Uターン促進に関する窓口の一本化など、商工団体等との共創により、UIJターン就職・地元定着促進を効果的に展開

企業(起業)支援の強化・促進

◆ 中小企業のDX・脱炭素投資への支援 **NEW** 15,000千円

◇ デジタル技術を導入して生産性を向上させる事業者を支援
◇ 地域金融機関等との共創により、自社の二酸化炭素排出量を把握し、その削減に取り組む事業者を支援

◆ 創業希望者の継続的な支援と起業家教育の促進 606千円

◇ 創業からその後まで創業者への継続的な支援を実施
◇ 地域金融機関や商工団体等との共創により、子どもたちに向けて起業体験の機会を創出

元気な農林水産業の育成・支援

◆ 新たな特産物産地形成への支援 **NEW** 10,500千円

◇ 関係団体や企業との連携により、新たな産地化を目指すレモンを栽培する圃場整備等に対する補助

◆ 学校給食における地産地消の推進 **NEW** 3,002千円

◇ 関係団体と連携し、磐田市特産の農産物を学校給食に使用することで、児童・生徒の郷土愛の向上・育成を図るとともに、地域内経済循環や将来的な農産物の生産拡大に繋げる

障がい者の就労支援体制の充実

◆ 障がい者等の就労支援 122千円

◇ 就労を希望している障がい者等との面談を通じ、特性等の情報をカルテにまとめ、支援機関に提供することで、本人の特性に沿った職業選択や就労継続を支援

「3つの重点戦略」

住みたくなる・集まりたくなるまちに向けた「共創」

未来を担う子どもたちへの投資や子育て支援をはじめ、継続した防災・減災対策、空き家なども含めた本市の資産の活用、また、学びの機会の創出などによる多様なコミュニティの場づくりなどにより、住み続けたい、帰ってきたい、移り住みたい、訪れたい、と思えるまちを目指します。

安心して子育てができる支援体制の充実

- ◆不妊治療費助成の拡充 20,224千円
 - ◇先進医療分の治療費に加え、保険適用の一般及び特定不妊治療の自己負担額に対しても補助
- ◆こどもの居場所に係る支援制度の創設 **NEW** 1,000千円
 - ◇新たにこどもの居場所づくり活動を始める等の団体に対し、こども食堂等、こどもの居場所の新規開設や事業拡大に対する支援

防災・減災対策の推進

- ◆豪雨災害に伴う道路冠水への対応 28,245千円
 - ◇道路冠水常襲箇所へ注意喚起等の対策を実施し、道路利用者の安全を確保
- ◆海岸堤防の整備推進 3,498,435千円
 - ◇早期の完成に向け、海岸保全工区における県委託工事と海岸防災林工区の整備を継続して実施

住む場所の確保・支援

- ◆ジュビロ磐田と連携した移住体験ツアー **NEW** 854千円
 - ◇県外在住者を対象に、先輩移住者や本市在住のジュビロサポーターとの交流を内容とした移住体験ツアーを実施
- ◆若者、子育て世帯の移住定住を支援 50,000千円
 - ◇司法書士やNPO法人などと連携して空き家の活用を拡大するほか、既存住宅取得等事業費補助金により、安心して子育てできる住環境整備を支援

学びの機会の創出

- ◆「磐田ここからラボ」の推進 23,106千円
 - ◇「校舎のない学び舎」をコンセプトに、多くの市民が多様な学びを楽しみ、対話を通じて人と人との交流が生まれることを目指す
- ◆新たな地域クラブ「SPO☆CUL IWATA」の実施 **NEW** 15,359千円
 - ◇学校部活動を再編し、地域における活動団体等の参画を得て、新たな地域クラブ活動を実施

「3つの重点戦略」

新たな価値・魅力の「共創」

スポーツをはじめ、歴史・文化・自然環境など、本市が持つ、自慢できる宝・素材をさらに磨き、それを効果的に活用することにより、新たな価値や魅力の創造を図り、本市の誇りとにぎわいづくりを目指します。

スポーツのチカラを活用したまちづくりの推進

- ◆ **スポーツ施設再編整備に係る調査検討** **NEW** 5,500千円
 - ◇ 持続可能なスポーツ施設の維持・整備を行うため、スポーツ施設再編整備に係る調査検討を実施
- ◆ **スポーツプラットフォームの研究** 1,460千円
 - ◇ プロスポーツチームや大学などと連携しながら、団体や企業、市民が幅広く参加するスポーツプラットフォームの構築に向け研究

文化・芸術・歴史に触れる機会の充実

- ◆ **文化芸術活動スペースの整備** **NEW** 7,568千円
 - ◇ 市民の芸術活動を支援するため、「ひと・ほんの庭 にこっと」の2階を改修し、展示機能が整った施設を 整備するための基本・実施設計を行う
- ◆ **家康ゆかりの歴史的資源の活用** 2,765千円
 - ◇ 大河ドラマ放送後の機運の高まりを継続するため、「磐田三城」展の開催や地元団体と協力しながら講座・講演会の開催、社山城跡の地形測量調査などを実施

観光・交流の推進

- ◆ **「(仮称)磐田おんぱく」の実施** **NEW** 1,285千円
 - ◇ 本市の魅力発信と交流人口の増による域内経済の活性化を目的として、観光協会、商工会議所、商工会との共創により、本市の文化や歴史、魅力ある産業等を体験できる「(仮称)磐田おんぱく」を開催
- ◆ **地域おこし協力隊を活用した動画コンテンツ等による魅力発信** **NEW** 8,854千円
 - ◇ 磐田市の魅力を移住者ならではの目線で発信するとともに、SNSを通じたコミュニティを形成し、磐田市に興味関心のある人同士がつながる新たなコミュニケーション機会を創出する

合併20周年に向けた取組

- ◆ **合併20周年に向けた準備**
 - ◇ 令和7年度の合併20周年に向け、記念事業などについて検討を実施

「3つの重点戦略」

「共創」によるさまざまな取組

「共創」による取組は「100以上」



「子どもたちの安心」～子どもたちをど真ん中に「安心できるいわた」～

◆子育て世帯等に対する家事支援事業の開始 **NEW** 1,127千円

◇家事・育児等に不安や負担を抱える子育て家庭等に家事支援ヘルパーを派遣

◆子育て短期支援事業（ショートステイ）の拡充 363千円

◇保護者の疾病等で家庭での養育が一時的に困難となった場合のこどもの預かり支援の受入れ先として、施設に加え里親を追加

◆病児保育の拡充 49,974千円

◇病児保育施設の拡充による保護者の就労を支援

◆第3の教育支援センターの設置 **NEW** 9,854千円

◇多様化・増加する不登校児童生徒に応じた「多様な学びの場」の選択肢として、第3の教育支援センターを民間委託により設置

◆学校の諸問題に対する支援体制の拡充 **NEW** 858千円

◇県弁護士会と協定を結び、学校の諸問題に対し専門的な立場から適時適切な助言を担当弁護士（スクールロイヤー）から受けるとともに、こども若者家庭センターとも連携しながら、支援体制を拡充

◆探究的な学びデジタルコンテンツの導入 **NEW** 9,840千円

◇探究的な学びの充実のためオリジナルのデジタルコンテンツを制作

◆向陽学府小中一体校の整備推進 980,695千円

◇令和8年4月開校に向け、本体工事や既存校舎解体工事、大藤小学校プール改修工事を実施

★「こども若者家庭センター」を新設

★「学校づくり整備課」を新設



「暮らしと健康の安心」 ～歳を重ねても、障がいがあっても、病気になっても「安心できるいわた」～

◆フレイルの改善を目指した取組 **NEW** 6,552千円

- ◇自立した生活を少しでも長く送ることが出来るようにするため、リハビリテーション専門職による改善に向けた助言・指導を行う新たな支援を実施
- ◇生活機能の改善及び低下予防のために実施している短期集中的サービスの充実

◆救急情報シート利用促進 511千円

- ◇救急搬送時に必要な情報や相談窓口等を記載したシートを75歳以上のみ世帯へ送付

◆障がい者の緊急時支援の充実 **NEW** 20千円

- ◇障がい者の緊急受入れなどに対応するため、地域生活支援拠点がコーディネーターとなり、障がい者の生活をトータル的に支援

◆ヘルスケアアプリ「たのしっぺい!シン・健幸チャレンジ」 4,255千円

- ◇民間企業と連携し、スマートフォンのアプリを活用した健康を環境から支える仕組みを構築

◆磐田市立総合病院に(仮称)内視鏡センターを新設 **NEW** 910,000千円

- ◇患者数の増加が見込まれる消化器疾患の受入体制を拡充するため内視鏡センターを新設

◆磐田市立総合病院にソーラーカーポートを設置 **NEW** 180,000千円

- ◇来院者用駐車場にカーポートを設け、来院される方の利便性を向上させるとともに、屋根を太陽光発電設備とし、利用電力量への補填を行う

◆路線バスキャッシュレス決済導入の補助 **NEW** 4,000千円

- ◇クレジットカードのタッチ決済を導入する交通事業者に対して補助金を交付

★福祉課と高齢者支援課の2課を「福祉政策課」「福祉相談課」「高齢者支援課」の3課に再編



「まちづくりと防災への安心」～将来まで暮らしが「安心できるいわた」～

- ◆ 豊岡支所庁舎の整備 532,032千円
 - ◇ 令和7年4月の開所に向け本体工事等を実施
- ◆ 神増地区における治山工事 **NEW** 22,000千円
 - ◇ 令和4年台風第15号による土砂災害を受け、県の災害対策工事に併せて実施
- ◆ 大規模盛土造成地の安全性把握調査の実施 24,971千円
 - ◇ 大規模地震による造成地の滑動崩落等の宅地被害を防ぐため、地盤調査等を実施
- ◆ 災害用備蓄食料等の整備の促進 18,111千円
 - ◇ 災害用備蓄食料等の考え方を整理し、計画的に整備を進める
- ◆ 中東遠消防指令センター高機能消防指令システムの更新 1,893,540千円
 - ◇ 中東遠地区6市町で構成する中東遠消防指令センターの高機能消防指令システムの全更新
- ◆ 消防庁舎の整備推進 85,709千円
 - ◇ 令和10年度完成に向け、基本・実施設計や物件調査・地質調査等を実施
- ◆ 機能別消防団員制度の導入 **NEW** 12,048千円
 - ◇ 消防団員が減少してもあらゆる災害に対応するため、消防団員経験者を活用
- ◆ 省エネ家電買替促進キャンペーンの実施 **NEW** 100,000千円
 - ◇ 消費エネルギーの削減に貢献する家電の買替を促進することで、家庭から排出する二酸化炭素を削減するとともに、環境負荷の低減について市民に啓発する



「未来と仕事の安心」 ～10年後へ向け価値を創造し「安心できるいわた」～

◆企業立地に対する支援 679,820千円

◇次世代産業や既存産業の集積を積極的に推進するため、工場等の新增設を行う企業へ支援

◆沿岸部の産業用地開発可能性基本調査 10,000千円

◇民間の力を活用した新たな産業用地開発を推進するための基本調査を実施

◆フィリピン(ダグバン市)・タイとの交流事業 **NEW** 5,858千円

◇姉妹都市であるダグバン市との交流を行うとともに、縮小する国内市場を踏まえ、市内産業の活性化を図るため、タイ国との産業交流を実施

◆オフィスの立地に対する支援 102,500千円(再掲)

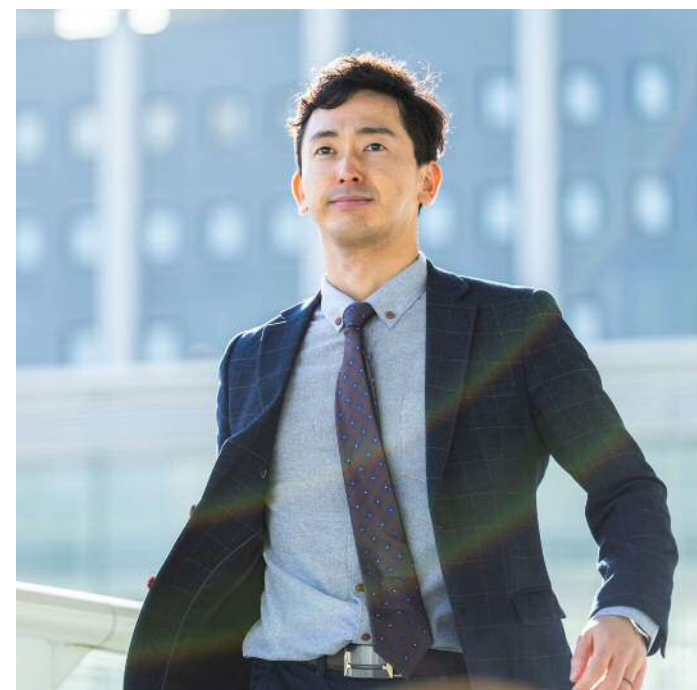
◇新たな産業の柱を創出するため、情報通信業等の第3次産業に着目し、市内でオフィスの新設を行う企業へ支援

◆スポーツ施設再編整備に係る調査検討 **NEW** 5,500千円(再掲)

◇持続可能なスポーツ施設の維持・整備を行うため、スポーツ施設再編整備に係る調査検討を実施

◆遠江国分寺跡の整備 312,302千円

◇塔跡基壇等の整備や指定地の取得を実施



「安心できる市役所づくり」～市役所を「判断する場所」から「相談できる場所」へ～

◆「書かない・行かない」窓口の本格運用 14,560千円

◇証明発行業務に加え、6月からは住民異動に伴う業務の稼働を予定

◆生成AIツールの導入 **NEW** 4,290千円

◇文章の作成や要約、アイデア出しなど様々な業務の効率化を図る

◆基幹業務システムの標準化 257,123千円

◇住民記録、税及び福祉業務のシステム標準化に向けた移行データの整理、移行テストなどを行う

◆デジタルデバйд対策の推進 6,963千円

◇スマートフォン教室の実施や地域で身近にスマートフォンの操作を相談できる人材を育成

◆職員育成施策の更なる推進 13,910千円

◇人材マネジメント推進プロジェクトの意見を反映した職員育成への投資強化

◆市公式ホームページのリニューアル 5,511千円

◇令和7年度の合併20周年に向け、市のインターネット上の正面玄関とも言える市公式ホームページのデザインをリニューアル

◆ファシリテーターの育成・活動支援 323千円

◇市民活動団体等の支援やファシリテーターの育成に加え、ファシリテーターの活動支援を実施

★「財務担当部長」の配置（税務担当部長の職務拡大）

★市税課を「市民税課」と「資産税課」に分割

★職員課に「人材戦略室」を新設



カーボンニュートラルの推進に向けて

～環境貢献を明らかにします～

脱炭素社会の実現に向けて第2次環境基本計画後期計画に掲げる消費エネルギーの削減や再生可能エネルギーの利用促進に関する施策を推進します。環境に貢献する施策について、事業執行により二酸化炭素の削減が見込まれるなどの「環境対効果」指標を三段階で明示します。

市の施設における施策

市民に向けた施策

●●● CO2が50%程度削減など著しい環境効果が見込まれる事業

- ・豊岡支所庁舎の整備 **NEW**・消防庁舎の整備推進 **NEW**
- ・投票用紙のリサイクル **NEW**・向陽学府小中一体校の整備推進

- ・「書かない・行かない」窓口の本格運用 **NEW**

●● CO2の削減が次年度以降も見込まれる又は他課へ水平展開が望める事業

- ・磐田市立総合病院にソーラーカーポートを設置 **NEW**
- ・事務の見直しによる公用車削減と自転車導入 **NEW**
- ・焼却する刈草の資源化

- ・省エネ家電買替促進キャンペーンの実施 **NEW**
- ・家庭向け節電促進キャンペーンの実施
- ・食品ロス削減キャンペーンの実施

● 単年度においてCO2の削減が見込まれる事業又は中長期的に確実に見込まれる事業

- ・海岸堤防の整備推進
- ・庁舎や体育施設などにおける照明のLED化
- ・若者、子育て世帯の移住定住を支援

- ・中小企業のDX・脱炭素投資への支援 **NEW**
- ・小中学生向け地球温暖化対策に関する環境学習

※主要事業の概要資料においても同様の評価をしています。

磐田ここからラボ ~多様な学びを楽しみ、対話を通じて人と人との交流を育む~

『人が集まる磐田市』



学び 対話

多様な学びを楽しみ、「最新学習歴」の更新
対話を通じて人と人との交流・つながりづくり

NPO、市民活動団体の学びを応援

こどもの自由な学びを応援

高校生が企画する学びを応援

市内企業で働く人の学びを応援



1団体
最大10万円
予算150万円



1校
約50万円
予算1,610万円



1校
最大50万円
予算300万円



1事業者
最大10万円
予算200万円



◆講演会・シンポジウム

- ◇男女共同参画講演会／自治デザイン課
- ◇中学生以上全住民アンケート講演会／自治デザイン課
- ◇人権教育講演会／福祉課 ◇認知症フォーラム／高齢者支援課
- ◇ケアメン講座／高齢者支援課 ◇発達支援講演会／こども未来課
- ◇ひきこもり支援講演会／こども未来課
- ◇中心市街地まちづくり講演会／経済観光課
- ◇未来の農林業セミナー／農林水産課
- ◇寺谷用水シンポジウム／農林水産課
- ◇子どもと読書講演会／中央図書館

◆地域づくり・市政参画

- ◇市民と市長の意見交換会／各課
- ◇市長と未来を語る会～高校生版～／秘書課
- ◇いわた高校生まちづくり研究所／政策推進課
- ◇課題検討ワークショップ／自治デザイン課
- ◇市民まちづくりワークショップ／自治デザイン課
- ◇交流センター講座（教養、地域づくり、人材育成、人権）／自治デザイン課
- ◇中学生地域リーダー養成講座／学校教育課

共創

◆体験・実践・専門性

- ◇市民ファシリテーター養成講座／自治デザイン課
- ◇日本語教育事業／自治デザイン課 ◇食育講座／健康増進課
- ◇わくわくスポーツ教室・親子ふれあい体育教室／スポーツのまち推進課
- ◇読み聞かせボランティア講座／中央図書館
- ◇法律セミナー／中央図書館 ◇ふるさと歴史たんけん隊／文化財課
- ◇やさしい健康教室／医事課 ◇下水道探検／上下水道工事課

◆つながりづくり・きっかけづくり

- ◇30s祭／自治デザイン課
- ◇子ども・若者と笑顔でつながる地域の集い／自治デザイン課
- ◇オレンジカフェ／高齢者支援課 ◇ブックスタート／にこっと
- ◇親子の絆づくりプログラム／こども未来課
- ◇ジュビロ磐田小学生一斉観戦・静岡ブルーレヴズ中学生一斉観戦／スポーツのまち推進課

組織機構について

子どもたちの安心

○「こども若者家庭センター」を新設

全てのこども・若者、妊産婦、子育て世帯等に対する包括的な支援を行うための相談体制を整え、母子保健と児童福祉の双方が一体となった妊娠期から子育て期にわたり切れ目なく支援。

○教育部に「学校づくり整備課」を新設

新規の一体校整備だけでなく、将来的な学校施設整備に係る計画や既存施設の維持管理・有効活用を推進。

暮らしと健康の安心

○福祉課と高齢者支援課の2課を

「福祉政策課」、「福祉相談課」、「高齢者支援課」の3課に再編

拡大・複雑化する福祉需要への対応や支援体制の充実を図るため、「政策」、「相談」、「介護等」に業務を再編し、福祉施策をより円滑に推進できる体制を整備。

安心できる市役所づくり

○「財務担当部長」の配置（税務担当部長の職務拡大）

予算編成及びその執行管理、歳入の根幹である税務を一体的に推進し、より効率的な財政運営を目指す。

○市税課を「市民税課」と「資産税課」に分割

市税課を2課に分割し、規模の適正化を図るとともに、相続登記の義務化や所有者不明土地等に対応する体制を強化。

○職員課に「人材戦略室」を新設

人材の確保、育成をより一層推進。